



9号 令和4年5月16日

<学校教育目標>

自ら伸びる ともに伸びる

校長だよ!

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



「へいわって どんなこと?」

浜田桂子作の絵本「へいわってどんなこと?」(童心社)。本校の図書室にある絵本です。ずっと前から、阿賀っ子全員に触れてほしいと思っていた絵本のひとつでした。この絵本を5月11日(水)の給食時間にリモートで読み聞かせをしました。

この絵本の内容は次のとおりです(一部抜粋)。

せんそうを しない。
ばくだんなんか おとさない。
いえや まちを はかいしない。
だって、だいすきな ひとに いつも そばにいてほしいから。
おなかが すいたら だれでも ごはんが たべられる。
ともだちと いっしょに べんきょうだって できる。
それから きっとね。へいわって こんなこと。
みんなの まえで だいすきな うたが うたえる。
いやなことは いやだって、ひとりでも いけんが いえる。
わるいことを してしまったときは ごめんなさいって あやまる。

・・・
おもいっきり あそべる。
あさまで ぐっすり ねむれる。
いのちは ひとりに ひとつ、たったひとつの おもたい いのち。
だから ぜったいに、ころしたら いけない。ころされたら いけない。ぶきなんか いらない。

・・・
へいわって ぼくが うまれて よかったって いうこと。
きみが うまれて よかったって いうこと。
そしてね、きみと ぼくは ともだちに なるって いうこと。

この絵本を踏まえて、私が阿賀っ子に語ったことは・・・。
「平和とは、決して 人から してもらうことではなく、自分から そして みんなで 力を合わせてつくりあげるもの。たった 1人でも まわりのことを 考えない人がいてはいけない。そんな心がなくなるよう、みんなで 平和の心を渦にしていきましょう。」

「伊能忠敬が阿賀のまちに来た!」

瀬戸氏(西町自治会長)が先日、来校され、5月20日から公開される映画「大河の道」が、実はわがまちと深い関係があるとのお話をしてくださいました。この映画の主人公は、江戸時代に日本中を測量してまわり、精密な日本地図をつかったことで有名な伊能忠敬(いのう ただたか)。この映画のなかで、伊能忠敬が阿賀を測量する様子を絵に表した絵巻物「浦島測量之図」(右写真)が出てくるのだそうです。

わがまち阿賀に一層の郷土愛をもつ子供に育つようにとのご協力に心から感謝いたします。



神田神社

松尾神社

大空山